

地方分権改革シンポジウム

子ども・子育て支援の課題

2017年3月23日

株式会社日本総合研究所
池本 美香

次世代の国づくり

Copyright (C) 2017 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved. [01/17]

提案募集方式の主な成果（平成28年度）

2. 子ども・子育て支援 —地域の実情に応じた支援—

- ・幼保連携型認定こども園の施設に関する基準の見直し（園庭、遊戯室の設置基準） **保育の質**
- ・幼保連携型認定こども園以外の認定こども園に係る認定権限の移譲（都道府県→指定都市） **事務負担**
- ・家庭的保育事業等の連携施設の確保に関する要件の明確化 **保育の質**
- ・病児保育事業の職員配置要件に係る特例措置 **保育の質**
- ・延長保育事業等と放課後児童クラブを合同で実施する場合の特例措置 **保育の質**
- ・子ども・子育て支援新制度における支給認定証の任意交付 **事務負担**

次世代の国づくり

事務負担軽減に向けた取り組みが不足

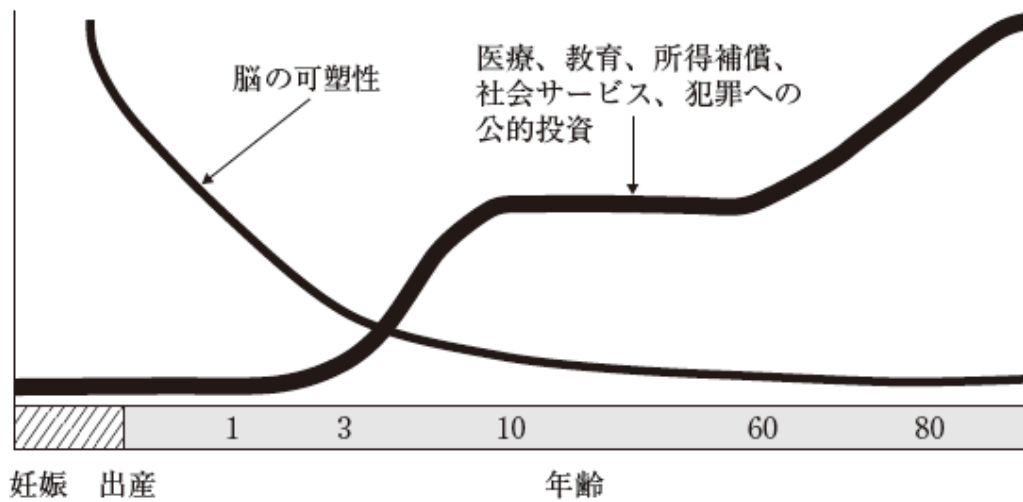
- 子ども・子育て支援新制度でより複雑な制度に
都道府県と市町村の両方が施設の質をチェック（重複）
施設の種類が増加（内閣府・文部科学省・厚生労働省の三元化）
事務処理の複雑化（市町村により異なる書式に現場が対応）
- 待機児童問題
入園優先順位づけの事務負担
苦情・相談への対応
建設反対運動への対応
保育士不足への対応
親の情報収集の負担
- ICT化の遅れ
保育所等のICT化推進補助では不十分

保育の質をどう確保するか

- 外形的な基準・事前規制で質は確保できるのか
海外では基準より、実際の保育が子どもに相応しいものとなっているかをチェック
基準や事前規制よりも、実際の保育内容をチェックすることが重要
実質的な質の確保を目指す必要
- 単なる規制緩和は問題
園庭があっても有効活用されていなければ意味がない
園庭がなくても、毎日町に出て、自然や多くの人と会える保育がある
- 指導監査の在り方の議論が必要
どのように質をチェックすべきか
国として全園の質を評価し、その情報を公表する仕組みも検討すべき

限られた財源を有効に活用して、子どもにふさわしい環境をどうつくるか
現場から声を上げ、改善していくことが求められている

脳の発達と公的投資の関係



(資料) Dalli, C., White, E.J., Rockel, J., Duhn, I., with Buchanan, E., Davidson, S., Ganly, S., Kus, L., & Wang, B. [2011]. *Quality early childhood education for under-two-year-olds: What should it look like? A literature review, Report to the Ministry of Education, Ministry of Education, New Zealand.*